いわき民報
平市田町四八番地 電話三八一番
編輯兼發行人 印刷人 巳克輝千
日刊 但月曜を除く
定價一月二十円 一部七十錢
發行所 いわき民報社

ヤリ玉にあがつた 私設專賣局の兩長屋
私製きざみタバコも初檢擧

郡山專賣局監視官十二名と同平出張所監視官七名からなるヤミタバコ摘發隊は十二日午前九時半ごろかつてヤミタバコ長屋の名稱ある小名濱町定西添田武輝知外七名と別棟の福田守男外六名の兩長屋を急襲

▽手卷六万三千五百六本（七万五千円相當）▽私製みのり十六個（八百円相當）▽荒刻三貫匁▽葉タバコ七十貫を押收したが當地方で私製の刻み煙草が檢擧されたのはこれが始めてであり一個三十グラムで五十円に賣つていたものだが實際は二十五グラム程度のものであつた。なおこの長屋の人たちは手卷製造を專業として生計をたてゝいたものである

全力を惡質者取締りに
專賣局平出張所の態度强硬

專賣局平出張所では十三日午後一時から藤原郡山專賣局長出席し警察、裁判所、鐵道公安係、報導關係者等も集り專賣取締連絡協議會を開いた、最近のヤミタバコの横行に對して各方面の意見を開陳

鐵道に依るヤミタバコの輸送は減少の一途にあり最近は産地以外の驛を利用して發送する者もあり注意を要する（鐵道公安係）これら犯罪防止にはもつと新聞を通じて一般に呼掛けるべきだ（報導關係者）檢擧したものは速かに處理すべきで事務整理の促進化を圖れ（警察係官）耕作者の横流自肅を要望する（裁判所側）等の論議があり更に專賣局平出張所側から最近の私製タバコの製造について『小口製造が尠なくなり大口製造者から小賣人へ渡されて手卷が街に出ている、今後はこの大口惡質者を槍玉にあげてゆきたい』と今後の方針を示すところがあつた

定例市會

定例市會は二十日午前一時か

水産業界の資材配給
漁網用綿糸等

本縣漁業會の各業種別資材割當協議會は十三日午前十時から本社ホールに開かれ、農林省福島資材調整事務所松井水産課長、本縣高木水産課長、同管野小名濱出張所長等臨席して各業者と漁網用綿糸其の他の割當を決定した 十四日は引續き午前九時から本社ホールで配分協議會を開いて細分配を決定した

食糧配給協議會を

平石炭局では十五日石炭協會々議室に食糧配給協議會を開く

地方の復興を期し 土建業者結集
石城土建協會愈々發足

土建業界の民主化を圖ることを目的に石城地方の有力土建業者を結集して縣土建協會石城支部が結成された、支部長には地方土建界の雄堀江工業專務長谷川常吉氏が選任され、平市田町平土地住宅會社に事務所を置いて業者間の連絡や資材配給の斡旋、發注者と業者間の連絡など戰後復興に協同の力を發揮する事になつた

役員

◇支部長、堀江工業長谷川常吉◇副支部長、鹿島組岡田德藏◇理事平土地住宅正木昌次郎、仝大野友春山田儀一（勿來）鐵高組間利子八五太郎（勿來）成瀨巳三（稲田）三崎組太田勝康（小名濱）◇監事、小林組吉川久太郎、同江口勇（四倉）◇顧問、平、稲田兩土木監督所長、平勞働基準所長、湯本町勞務見作

物資配給は個人本位に

平石炭局勤勞部では十三日午前十時から市勞働會館に勞務者向物資配給實施要領說明會を開いた、従來物資配給方法は團体責任制であつたが今後は個人の出炭率、稼働日數等による個人本位となされることになつた

一四四名に僅か四〇名
十日までの教員志望申込者

教員不足にあえぐ郡下の各中小學校の現状は想像以上のものがあるので地方事務所では教員志望者の募集に大童だがこの十日までに申し込んで來た者は學級數を基礎にした教員不足數百四十四名に對しわずかに教官十名、助教三十名というさびしさ、教官は大部分專門學校以上卒業者だが助教はほとんど女學校卒業者である

酒の登錄をお忘れなく

市の酒登錄は十五日まで市役所へ届出ることになつているがまだ相當登錄してない市民もあるのでこれでは十六日から始まる豫約受付けにも影響するので同期日まで洩れなく登錄を濟ませるよう市配給課では要望している

いわき寸言

☆花もいよく名殘り、ヤミの名殘りも早く來い

☆ボスの排擊を叫ぶもの自身がボスとはよく出來たもの

☆神さまと佛さまがモミの木三本で草野村でいがみ合う、末世も末世これ以上のことはごわせん

春の撮影會

櫻のベールに美しきモデルを！あなたのカメラは心行くまで見つめる事でせう、樂しき春の一日を同好の志がカメラと共に新らしき印象を探ねて左の要項により撮影會を致します

期日　四月十八日午前九時（第三日曜日）雨天の際は第四日曜日
撮影場所　平市松ケ岡公園
題材　櫻の花とモデル
指導　尾崎三吉先生又は長瀞應三先生
集會場所　松ケ岡公園廣場
參加費　金五十圓（どなたも參加出來ます）
申込締切　當日會場でも受付ます
申込所　磐城寫友クラブ事務所　平市内寫眞材料店
發表展　五月十六日（第三日曜日）
賞金
一席　壹千円副賞朝日新聞社賞、平市長賞　一名
二席　三百円　仝　二名
三席　壹百円　仝　三名
入選　記念賞　二十名

主催　全日本寫眞聯盟平支部　磐城寫友クラブ
後援　朝日新聞社　平市　磐城觀光協會　福島觀光協會　日本交通公社　いわき民報社　小名濱寫友會　平寫眞材料商組合

民報論壇
平第二中學校の新築を急げ

學制改革による學校新築問題はどこの市町村でも惱みの種であつたが最近において着々進渉しつゝある模様である、平市第二中學校建築案は昨年來の懸案となつているが未だに敷地の決定も見ずにいることは甚だ遺憾である、生徒は現在第二小學校と女子商業に分散教育を受けているが、その不便は教育に滿足を與うる事は恐らく不可能であろう

市會においても早くから委員會を設けてその敷地の候補地市内鎌田と平窪の森の内を物色して見たが遂に纏らず、同校は茲に暗礁に乘り上げた形となつている、このことはやがて新校舍が出來るであろうと期待していた幾百の在校生に大きな失望を與えているばかりでなく義務制を重んじない冒瀆である

不如意な市財政のこともあるが、要はその責任の地位にある鈴木平市長の教育に對する熱意の缺陥であろう、公選一ケ年の經過を見て敏腕を謳はれた老市長の行政成績は更に上つていない、勿論就任一年位の短期間では早急に成果を求めることは無理かも知れないが然しこの期間に果して云うが如き敏腕家であるならば市發展向上の爲めの礎石丈けは打つてあるはずである

然るに過ぐる一年間において市民に大きく印象づけたものは政治攻勢即ち消防問題と第一小學校問題丈けであつて市民を首肯せしむる何物もなかつたことは市民の悲しむところである、第二中學校新築問題は市長の熱意と責任において又市會側においても一段の努力を拂い早急に解決すべきである。（田原）

安藤對馬守信正
廢帝論と坂下門の變

維新史料藤澤氏資料による ⑤

史談會員　鈴木光四郎

笹川氏の調査による坂下門の變

幕府に起つた暗殺事件であり文久二年正月十五日の朝老中安藤對馬守信正が將に登城せんとして坂下門外に至る。偶々路傍より短銃を放つ者があつた。ついで壯士數人刀を揮い警衛を犯して輿に迫つた從士山田彥八等刀戰して之を防いだ。信正は輿を出でて走つた。壯士追い擊つてその腰を傷けた。信正は僅かに身を以て郭門に投じて脫れた。從士奮戰して遂に悉く壯士を倒した。

此の擧に與るもの水戶藩士平山兵助、同小田彥三郎、常陸多賀の人黑澤五郎、常陸久慈郡の人高畑總次郎、越後の人川本杜太郎、下野の人河野顯三、等皆この變に於て返り討ちとなつた。この變の原因は水戶藩士西丸帶刀、岩間金平が長州藩士桂小五郎等と協議したことによるのである。下野の人大橋順藏も斬奸狀を修正して亦その謀に參加したと云はれている。當時刺客の懷に持つていた斬奸狀には安藤の罪を數え皇妹和宮の降嫁を請い締りて以て開市の勅允を要せんと欲していたとした

而して國學者に命じて廢帝の古例を引いた。斯くの如く幕府は世々恭順の旨を失つたからこれを斬誅すると云うにあつた。

然しながら壯士の云う所は多くは事實無根である。幕府は大いに遺黨を搜索し下野の人兒島強介等がこの擧件に連坐して獄に死した。之より先大橋順藏は捕えられて獄に投ぜられた。而して安藤信正は間もなく創え回復して再び幕閣に出でて事を視たのである。

坂下の變の信正の動靜

文久二年三月十六日　信正は再勤の決意を固めて登城した。その折九州の島津久光は藩兵を率いて京都に入り近衛關白に會見して次のような建議書を提出した。久光の陰謀によつて信正の政治上の位置は全く失はれてしまつたのである。その建白書には

安藤對馬守手傷平癒して出勤仕り候由、是は第一天下の人心に關係仕り然るべからざる事に候間、速かに退職仕り候樣仰出されたき事

島津久光

文久二年四月十一日

將軍は信正の功を賞して御一刀を賜はれたが島津久光の提議は强固なる勢力となつてしまつたのである。信正は時勢の非なるを悟つて老中加判の列を罷免せられん事を願い許されて同日溜詰格に下つてしまつた。

文久二年八月十六日　久光等の主張によつて信正は勤務中不正の取計い有之として村替を命ぜられた。二万石の減地と共に隱居を命ぜられてしまつたのである。

文久二年十一月二万石の減録と隱居、永ちつ居の責を負い慶應二年十一月迄滿四ヶ年謹愼を續けたのである。謹愼を解かれたが四ヶ年の歲月は時世の大轉換となり明治維新の黎明は訪れていたのである

慶應四年即明治元年三月五日信正は失意のうちに過ぎし老中時代の數々の思い出を江戶に殘して故鄕磐城平に出發したのであるが彼を待つものは戊辰の役であつたのである

たのしい春の撮影會
—十八日に松ケ岡公園で開く—

全日本寫眞連盟平支部と磐城寫友クラブ主催、本社並に平市、朝日新聞、磐城、福島兩觀光協會、交通公社、小名濱寫友會、平寫眞材料商組合後援の春の撮影會は十八日午前九時から平松ケ岡公園で櫻の花とモデルを題材に行う、會費五十円で指導には權威者尾崎三吉氏又は長濱慶三氏が當る、申込みは磐城寫友クラブ又は平市內寫眞材料店で當日會場での受付けもする豫定、賞金と副賞は

◇一等一名千円（副賞朝日新聞社賞と市長賞）◇二等二名三百円（副賞仝上）◇三等三名百円（副賞仝上）◇入選二十名記念賞

なおこれら作品の發表展は五月十六日に行うが場所等は未定である

全炭の擴大執行委員會

全石炭福島地方本部擴大執行委員會は十四日午前十時から市勞働會館に開き、縣勞働會議加入、第三次地方本部斗爭資金かんぱ、全國大會に對する福島地方の態度決定、全國大會代議員確認の件等々に就き協議する

平驛運區の委員決定

執行委員長高崎氏

平驛運台區分會は十二日開き左の通り本年度の委員改選を行つた

◇分會執行委員長　高崎敬次郎（平）◇副委員長　志賀良義（平）◇分會執行委員—總務部長　吉田勳（湯本）社會部長　鈴木新平（平）調査部長　古川勝彥（平）文化部長　中根力雄（平）情報宣傳部長　山崎勝彥（綴）厚生部長　梅津金藏（綴）◇水戶支部委員　高崎敬次郎（平）菅本三義（綴）山崎勝彥（綴）吉田勳（湯本）中根力雄（平）

神經科　電15
內科　精神科
アラタメ
平市磐梯小路　新田目醫院

勞働者側委員に菅野氏

勞働基準法第九十八條による勞働基準委員の勞働者側からの委員五名（中、平地區勞協議會からは古河好間炭礦勞組書記長菅野信一氏に去月二十八日の縣勞委員會で決定、使用者公益代表者は未定

平市の食油登錄店

三十一店と決る

平市の食油登錄店舖は次の如く決定

田卷重三、片寄弘文、百瀨易止、宍戶武雄、鈴木義德、大津賀善吉、阿部勞造、柏原義一、武子熊助、平野鐵之助、甲高ユウ、根本虎義、天野カネヨ、中野健次郎、國府田良平、大內近雄、菅野芳夫、岩谷清次、長瀨淸明、白土止藏、佐藤正次郎、須賀井長治、平澤政衛、猪狩喜一、吉田キヨ、市井三郎、關內正一、常磐炭鑛購買會、水野喜雄、小野作爾店、渡邊賢司

おびただしい押收品

三月中の小荷物車取締りの成績調べ

平地區、自治兩署の三月中における小荷物車違反取締りで押收されたものは左の通り（單位キロ）

うるち精米七三八件五、三〇七▽糯精米一三件六〇▽豆類一、四四九件、一三七七四▽芋類二四件一五八七▽雜穀四五四件四、七一〇▽魚類九一、三四五件三、八七〇貫△飴類餅類二六件、二七〇▽バターチーズ類三五件、七三九ボンド▽葉煙草四〇件、四二八▽新炭類三四件、四六九△地下足袋二件、六六足▽木綿地一件七反

幸運大當り片寄さんへ

誠光堂の賣出し

平市銀座街誠光堂驛前全支店合同の全額拂戾し抽籤券付大賣出しは非常な人氣を呼んでいるが十三日勿來町片寄さんが一等大當りで一千四百円の全額拂戾しを受けた

圖太いドロ公

豐間町大字豐間字鹽場無職三田昭一（一九）—假名—ほか二名は去る九日午前二時頃出入先の全町字原町無職四家フミさん（五四）方の留守中を狙つて衣類三點を盜み全夜六時頃なにくわぬ顏で被害者宅の風呂をもらつているところを駐在田倉巡査並に志賀消防團長等に捕われた

豐間の花賭博

豐間町大字豐間字原町雜貨商新田常二（三九）ほか三名は去る十一日夜十一時頃全人宅で花賭博開帳中を平地區署員に御用

人氣をさらうキグレサーカス

平市三丁目大テント劇場に目下開演中のキグレサーカスは小關興行部責任で十四日は春日和に惠まれて大人氣を呼んでいる

春はサーカスのジンタに乘つて
キグレ空中大サーカス
平市三丁目空宅
大テント劇場

◆愈々本日より（十三日より）（五日間）◆
サービスの店
誠光堂獨得のサービス
お買上高金額拂戾抽籤券付大賣出し
大當り…特賞…金額拂戾しお買上高、三千圓、四千圓にても……十本
一等、二等、三等、四等
全部現金拂戾空籤なし御買上高の多少に拘らず抽籤出來ます
サービスの店
合同
誠光堂時計店　平市銀座街電九八八
誠光堂支店　平市驛前

◈移轉お知らせ◈
新、小名濱西町一一七
舊、小名濱町中島
右に移轉致しましたから何卒よろしくお引立の程願い上げます
從來通り委託加工もお引受致します
營業所　小名濱後宿天王樣前
榮泉堂パン店
店主　〓谷幸一